



新刊
紹介

B5判：192P
定価：2,000円+税

2015年7月発行予定

キャリア教育が
子どもを、学校を、
地域を変える！



筑波大学教授
藤田 晃之 先生

前文部科学省キャリア教育担当調査官、国立教育政策研究所フェロー。
15年ほど前にキャリア教育が登場して以来、最前線にて浸透・啓蒙を続
けている、キャリア教育の第一人者。

「普通の学校」の手作りの実践

*平成23年度のデータ

仙台市立寺岡小学校。*児童数およそ八〇〇名、全二七学級の公立小学校である。今回、『キャリア教育の底力』として取りまとめられ、公刊に至ったのは、寺岡小学校が平成二三年度から今日まで取り組んできた「自分づくり教育（＝キャリア教育）」を核とした自主的実践研究の軌跡と成果だ。

特別の予算措置や教員加配がなされたわけでもないこの学校が、全校体制で実践研究に着手した背景には、言うまでもなく、東日本大震災後の学校と地域の再構築に迫られていたという事実がある。仙台市北部に位置するこの学校と周辺地域は、壊滅的な被害こそ免れたものの、子どもたちは外見には現れない傷を負い、新興高級住宅地に隣接する学校特有の地域課題も顕在化する傾向にあった。

大震災から一か月を経ずして迎えた四月。寺岡小学校に校長として赴任してきたのが野澤令照先生である。野澤校長先生のリーダーシップと、その熱き想いに応えて全校体制で実践研究に取り組んだ先生方が、「寺岡版・キャリア教育」を創り上げていった。……これだけであれば、私は本書の監修を

させていたかどうかとは思わなかったに違いない。これまで学校に対して批判的にも見えた校区の皆さんに、震災後の教育実践に参画していただいた結果（より正確には、地域の皆さんに頼っていたのである）。

寺岡モデルのエッセンス

寺岡小学校のキャリア教育のエッセンスは、次の三点に集約できる。

一 普段の「普通の授業」を通じた実践
二 育てたい力・身につけさせたい力を常に意識した指導

三 地域総ぐるみでの取り組み

言葉を選ばずに言えば、「地味」なキャリア教育である。ファンファーレが聞こえてきそうなプログラムはない。目の前の子どもたちの状態を丁寧に見取り、どのような力を付けさせたいかを考え、教職員間で共有し、それらの目標に近づく上で有効な「キャリア教育の断片」を日々の教育実践の中から見いだして、心を込めて指導する。そして、個々の実践をつなげながら、体系的なキャリア教育をコツコツと構築していく。そして何より、子どもたちが生まれ、育ち、将来的には参画し、支えていくことになる地域の力を借り

ながら、子どもたちの成長を「みんなで」促し、見守っている。

キャリア教育の底力

最後に、本書「第四章」から、現校長である及川節郎先生のご指摘の一部を引用しよう。これこそがキャリア教育の底力の一端である。――「特別な時間を設けず、（中略）果たして子どもたちは変わるのだろうか、学校は変わるのだろうかという不安。派手さもなく、特に目新しいものもないことへの不安。それでも、たくさんの人に支えられながら、自分たちを信じて、子どもたちを信じて『自分づくり教育』を推進し、四年が経過した今、教師も児童も『自分づくり教育』への確かな十分な手ごたえを感じているのは紛れもない事実となっている。」



寺岡小のキャリア教育を支えた地域のボランティアの方々

認知特性別読み書き支援

スマイル式 プレ漢字プリント



Web から
無料
ダウンロード

ひらがな・漢字の 「読み」プリントが 提供される意義

東京学芸大学教授

小池 敏英 先生



学習障害(LD)をもつ児童の学習支援を専門に研究。数多くのLD児を支援する中で、読み書きの苦手には認知による特性があることを解明。その特性に応じたプリントを開発・公開。

教科書中の単語を「読める」 ようにする支援の必要性

ドリルをすぐに放り出してしまいう子、教科書などの音読が苦手な子、漢字の小テストが半分もできない子、ノートの文字がぐちゃぐちゃな子……。

その原因として、学習障害(LD)を考えることができますが、ほかに、読み書きの発達の遅れ、注意力の弱さ等、さまざまな要因があります。

子どもの学習上の弱さとして、「漢字を書くことが苦手」なことがよく指摘されますが、「漢字を読むことが苦手」な子どもも多いことが分かってきました。**教科書の中の単語を「読める」ようにする支援は、次に記す意味でも効果的です。**

- ① 「漢字単語を読めること」は、「漢字単語を書くこと」の基礎になります。
- ② 「教科書の中の単語を読めること」は、教科書を理解する基礎となります。
- ③ 漢字単語の内でも、視覚的イメージが乏しい単語(抽象的な単語)の読みが難しくなります。これらの単語は、学習の中でキーとなる大切な単語です。やさしい漢字単語を読めても、キーとなる大切な単語を読めないと、授業の理解が難しくなります。

漢字単語を読むための教材は、 工夫されたものが少ない！

多くの子どもは、先生に読み方と意味を教えてもらい、ふりがなをつける練習をすること(だけ)で、読み方を習得してしまいます。従って、漢字単語を読むための学習教材は、今までほとんど工夫されてきていません。

私たちの調査から、【単語完成課題】(ふりがなの欠けている箇所を付け加える課題)や、【単語検索課題】(複数の漢字単語の中から学習単語を探して、ふりがなを付ける課題)が、読みの習得に効果的であることが分かってきました。これらの課題は取り組みやすいため、子どものチャレンジする気持ちを引き出すのにも適しています。

本教材で大切にしたいこと

第一は、**教科書の単元に対応する**ように、教材を作成したことです。学校での学習は、教科書に沿って漢字を学習するので、教科書の単元にあわせて漢字や読みの課題を提出しています。

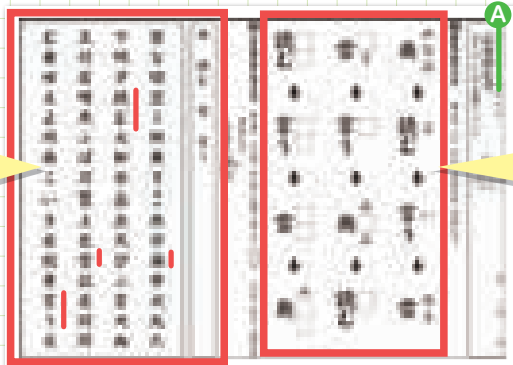
第二に、**子どもが、くり返しチャレンジ**できるような教材にしました。特に、反復して練習すると、しだいに学習効果を実感できるような内容にしました。

教材は、ウェブサイトからダウンロードして使いますが、**【単語検索課題】は、内容が毎回違うプリントが出てきます。**毎回違うプリントですが、反復して取り組むと、探すのにかかる時間が次第に短縮することを実感できます。

本教材は、ひらがな単語を中心とした教材、漢字単語を中心とした教材に分けてプリントが整理されています。子どもの様子を見て、無理のないところから、チャレンジさせてください。

◆**あなづめクイズ**
前の行をてがかりとしながら、読み方を書く練習です。**【単語完成課題】**

漢字読みプリントの例



*光村版(1～6年)のみの対応です。

◆**ことばさがしクイズ**
無作為に並んだ漢字交じりの文字列から、学習する漢字単語を、まとりとして捉えて読む練習です。**【単語検索課題】**